ズドラースヴィチェ！(こんにちは)

友好の架け橋交流“子供達がサハリンを滑る”

このほど国境の街の稚内から地元アルペンスキー少年団 4 名（指導者 1 名＋小学女子団員 3 名）が 12 月 25 日からサハリン州へ渡り、州のアルペンスキー学校の生徒たちとスキーを通して親善交流を深めた。

今回は、稚内国際文化交流協議会のスポーツ交流派遣事業であり、今までもバレーボール、柔道、空手、バスケットボールなど様々なスポーツを通して親善交流に取組んできていたが、冬季スポーツの分野は初めての試みである。

サハリンは、ここ２・３日の降雪でスキー場のバーン状況は最高。

25 日・26 日の両日は、地元アルペンスキー学校の子供達と合同練習を行い稚内側の子供達も隣国の雪の感触を確かめ合った。

冬のサハリン州の盛んなスポーツは、距離などのノルディクスキーが主であったが、近年、スキー場が近代的に整備をされてからはアルペンスキーやスノーボードが非常盛んとなり、スキー場には多くの人々で賑わっている。

“シーハイル！”ハイル！　ハイル!!

～◆～◆～◆～◆～◆～◆～◆～◆～◆～◆～◆～◆～◆～◆～◆～◆～

近年は、サハリンなどから北海道でスキーを楽しむためロシア人の家族連れがニセコやルスツなどで長期滞在。(日本製の板を愛用しているロシア人も有)

また最近では、道内のスキー場関係者などは、極東ロシアのハバロフスク、サハリンなどにおいて道内のスキー場を紹介するため現地で、プロモーション事業や旅行会社関係者の招聘などの誘致活動を積極的に取組んでいます・・・

・・・「私どもは、是非サハリンでスキーを滑ってみたいものですネ！」

《次ページ写真あり》↓

＜ズドラースヴィチェ　2010.12.25～28＞

同年齢層の子供達が合同練習に参加！！

ユジノサハリンスク市内の絶景な景色

通訳を挟んでの会話

いざ！！練習開始！！

オーストリア製のゴンドラで～す